

LIBRARY



発行は6月末ですが、配布は期末テスト後にしました。お疲れ様！

『青天 (アオテン)』 若林正恭著 文藝春秋 2026 913



エッセイの妙手が、遂に小説にまで！しかも堂々の直木賞候補に選ばれています。物語は、弱小アメフト部の3年生、アリこと中村昂が、強豪校の練習を盗み撮りに行くところから始まる。間抜けなことに速攻相手チームが見つかるも無罪放免。ひょっとして勝てるかもと秘策に走るが、あえなく撃沈。部活を引退した仲間たちは大学受験にまっしぐら。成績が振るわないアリは、不良にもなれず、自分のふがいなさへの後悔から、後輩たちと再びグラウンドへ！ルールを知らずとも十分楽しめると、読んだ人たちが絶賛！

『ファイア・ドーム』 辻村深月著 ポプラ社 2026 913



事件の発端は、25年前に遡る。北陸の地方都市で、デパートの受付嬢が、新聞記者を名乗る男に誘拐され、殺害されるという事件が起こる。容疑者は逮捕され、無期懲役となるが、被害者の家族はその後無責任な噂のなかで孤立を深める。そんな過去は知らず、この地方都市に東京から赴任してきた小学校教師、佐村冬美は受け持ちの児童の家族が、周囲から距離を置かれていることに気づく。いったいなぜ？中高生にも多くのファンを持つ著者の3年ぶりの新刊は、上下2冊と、読み応えたっぷり。でも読み始めたら、止まらない？そして自分自身が問われる作品となっています。

『多類婚姻譚 (たらいこんいんたん)』 凧良ゆう著 講談社 2026



凧良ファンがいるので、購入してみました。主人公たちの年齢層、ちょっと高かったですね。多様性が進む世の中、婚姻のカタチもどんどん変わっていきそうですが、変化についていけない人もいれば、ついていきたくない人もいます。そして、そもそも全く先入観がなかったらどうなのでしょうね。とはいえ、生まれ落ちた瞬間から、無意識・無自覚に、なんとなくバイアスはかかっていくものなので、婚姻がまだまだ先の中学生時代に読んでみるのも悪くないかも。

『さあ目をして、かわいい子』 サリー・ニコルズ著 杉本詠美訳 偕成社



オリヴィアは、11歳。彼女が世話になることになったのが、16番目の家、アイヴオー家。5歳の時に母親の虐待で保護され、以来いくつもの養護施設・里親家庭・養家を転々とする。反抗的で激しやすく暴力的なオリヴィアだが、そうなったには理由もある。そして、新しい家族への愛着が芽生え、それを失うことを恐れるあまり、目に余る行為に走る。加えて、この家には、過去のおぞましい出来事からか、不穏な空気が漂う。過敏なオリヴィアを、我慢できないにおいや音が毎夜襲ってくる。今回「10代がえらぶ海外文学大賞」候補作の一つですが、小学生には手渡したくないと小学校の司書さんからは言われたいわくつきの本。でも一気に読ませる力があります。図書委員8名が読んでみたいと言わしめた訳者による紹介文が、図書館に掲示してあります。ぜひ気になったら読んでみてください。

『ディス・イズ・ザ・デイ』 津村記久子著 朝日新聞出版 2021



サッカーの本を何か入れようと思って調べていたら、ちょっと変化球ですが、これもおすすめと紹介されていたので、購入してみました。皆さんは推しのチームがありますか？これは、地元根差す架空のサッカーチーム22のファンである22人の物語です。それぞれに事情を抱えた人たちが、スタジアムに足を運ぶ。そこでの偶然の出会いがもたらすささやかな、けれども胸を熱くするドラマがここに。強豪有名チームを応援するのは、また違った人生の喜びがあることにあらためて気づかされます。それこそ推しを持つことの喜びですね。

『大谷翔平にはなれないが、考え方は真似できる』 コアマガジン 2025



もう一冊は、今をときめく大谷翔平です！（この場合呼び捨てでいいのか悩みますが、大物は呼び捨てかな。）タイトルに惹かれて購入したのですが、ページを開いたら、文字が大きい！ふだん小さい文字を見慣れている司書の感想なので、たまに本を読むという中学生には、読みやすくいいのかも。「憧れるのはやめましょう」とは、WBCで侍ジャパンのメンバーに言ったひとこと。大谷マインドをたっぷり味わえる本です。どの考え方なら真似できそうでしょうか？

『おい！点P、動くんじゃねえ！』とけいまわり著 晶文社 2025



本は、タイトルが命！って思いませんか？この前、翻訳者さんが、「表紙とタイトルは、ページをめくっても読めるためにはとっても大事なんです！」と力説していました。ジャケ買いは表紙に惹かれて買うってことだし、背表紙の文字で足を止めるのは、まさにタイトルの力。そんなわけで、この本もいい感じじゃないですか？気になったあなた、ぜひ手にとってみてください。著者は算数・数学で苦勞した大人に向けて執筆。講演をすると、中学の時に会いたかったって言われるそうです。皆さんにはまだ間に合っただけよかった。

『死って、なんだろう？』 エレン・ダシー他著 創元社 2026



「文学」や「哲学」について子どもたちと話していたら、たまたま「死」についても話しが広がっていききました。著者たちは、それまで「死」について話すことに後ろ向きだったのですが、子どもたちが、自由に深く話し合う姿を見て、考えを改めました。「死」について様々な視点で考えられるようなワークショップを企画し、資料をダウンロードできるようにして、実際に世界中の人たちにやってもらったそうです。そこで出た子どもたちからの質問を送ってもらい、分類して、その答えも載せてこの本ができました。

『コジコジにきいてみた。』 さくらももこ文・絵 グループ



さくらももこさんが亡くなって早8年。朝井リヨウさんは高校生の時、投稿作品が予選を通過して、初めて自分の名前が載り、さくらさんが「腰が抜け、尻もちをついた。そしてそのまま数秒間立てなかった」と書いていたことを思い出し、尊敬するさくらさんと同じ体験ができたことが嬉しかったと語っていました。そのさくらさんの名作が蘇りました！なんと10万部のヒットになっているそうですよ。コジコジ問答「友情って永遠ですか？」「コジコジは昨日のこともわすれているなあ」ですって。

6月にはいった本の一部です。リクエストは常時受け付けています。

登録番号	分類	書名 1	著者名 1	出版者
040922	114	死って、なんだろう?	エレン・ダシー他	創元社
040899	146	香りで気分を切り替える技術	松尾祥子 著	翔泳社
040826	159	コジコジにきいてみた。	さくらももこ 文・絵	ブルーシーブ
040840	164	ギリシャ神話キャラクター事典	オード・ゴエミンヌ 著	グラフィック社
040658	388	神さまや鬼とのふしぎな話	小澤俊夫 監修	岩波書店
040996	488	意外と知らない鳥の生活	piro piro piccolo 著	KADOKAWA
040999	489	クジラと話す方法	トム・マスティル 著	柏書房
040890	491	忘却の効用	スコット・A.スモール 著	白揚社
040887	491	おもしろ解剖学	戸村多郎 原案	医道の日本社
040995	523	ガウディとサグラダファミリアの世界	鳥居徳敏	昭文社
040923	613	土と生命の46億年史	藤井一至 著	講談社
040897	653	樹木たちの知られざる生活	P.ヴォールレーベン 著	早川書房
040870	726	ミノタウロスの皿	藤子・F・不二雄 著	小学館
040881	760	音楽のあゆみと音の不思議	小村公次 著	大月書店
038562	762	西洋音楽史大図鑑	スティーヴ・コリソン	ヤマハミュージック
040866	779	人間・明石家さんま	吉川圭三 著	新潮社
040706	911	歌よみに与ふる書	永井祐 訳	左右社
040894	913	サキの忘れ物	津村記久子	新潮社
040896	913	エブリシング・フロウズ	津村記久子	文藝春秋

2026年度第1回ブックカフェ

7月8日(水) 終礼終了後

会場 図書館

[増田校長先生に聞いてみたい!

特別支援教育を選んだのはなぜですか?]



(80回生の皆さん、ブックカフェとは、お茶を飲みながら、講師のお話を伺い、その後おしゃべりを楽しむという会です。)

この4月から、本校の校長先生として赴任された、増田謙太郎先生は、通常の学級における特別支援教育や授業のユニバーサルデザイン(UDL)の専門家です。ユニバーサルデザインとは、「すべての人が最初から利用しやすいように設計された製品・空間・環境」を意味します。

今回のブックカフェは、難しい話というよりは、どうして困っている子を助ける教師になろうと思ったのか?や、どんな子ども時代を過ごしたのか、など増田先生に聞いてみたいことを図書委員会で考えました。

終礼終了後の1時間ぐらいですが、ぜひ参加したいという人は、前日までに図書委員に伝えてください。(お茶とお菓子の準備があるので。)皆さんの参加をお待ちしています。

第2回「10代がえらぶ海外文学大賞」はじまる!



6月15日に、7作のノミネート作品が発表されました。ヤマをかけて、すでに何冊か注文していたのですが、3冊が未購入でした。全部揃えて、今は図書委員が一足先に読んでいますが、終業式以降は、ぜひ皆さんに読んで欲しいので、予約をかけてくださいね。

投票期間は、7月1日~10月12日までです。

1冊でも読んで、面白いと思ったら、投票お願いします。

こんなことやってます!



80回生 社会 世界の人々の生活と環境



世界各国の人々の暮らしは、自然的条件・社会的条件・人間社会の営みが複雑にからみあって成立していることを、実際に好きな国を調べて検証してみるという探究的な学び。翌日のまとめを見学されていた学芸大学の先生が、1年生の授業レベルの高さに驚いていました。

テーマ研究 翻訳の世界



9月に、翻訳家の杉田七重さんをお迎えする予定なので、その前に杉田さんの講演動画を見て、その後、杉田さんが翻訳された作品を手にとって、味わってみました。

漫画のリクエスト第二弾

テスト終了後図書館内に、希望のあった漫画のタイトル一覧を掲示します。入れてほしい漫画があったら、1人1作品シールを貼ってもらう予定です。上位3作品の中から購入する漫画を図書委員会で決定します。

東京・学校図書館スタンプラリー

夏休み中の図書館を、一般の方に開放するという試みに、世中図書館も8/19、20、21の3日観、参加しています。詳しくは[HP](#)を。